

2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
120111025	ライフスタイル学演習 I Seminar in Life Style Studies I	丹羽・龍田・山田		専門	2	必修	1前期
科目の概要							
ライフスタイル学科における学びの目標は「新しいライフスタイルの提案」が出来るようになることにある。1年前期、後期、2年前期の3セメスターにわたって設定されているこの演習には、自分の生活とつながる様々な事象をテーマとし「生活の豊かさとは何か」を探し、考えて、それを表現する課題が設定されている。これまで何気なく接していたモノ、あたりまえに感じていたコトを新しい視点で見つめ直し、それに言葉を与えていく作業を通して、自分自身の感性を磨いてほしい。							
学修内容				到達目標			
① 人が暮らす、生活をつくることについて知る。 ② 場所との関係から成り立つ自分の生活のありようを知る。 ③ 暮らしの中の音を知る。 ④ 装うことがもたらす生活の豊かさを知る。				① 人が暮らす、生活をつくることについて説明できる。 ② 場所との関係から成り立つ自分の生活のありようを記事として伝えることができる。 ③ 暮らしの中の音を記事として伝えることができる。 ④ 装うことがもたらす生活の豊かさを記事として伝えることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	作成する記事をより良いものにするために、調査や推敲を重ねる努力ができる。					
	働きかけ力	他の学生が作成する記事についても、自身の作成する記事同様により良いものとなるようにアドバイスすることができる。					
	実行力	作成する記事をより良いものとする意志を持続し、課題を完成させることができる。					
考え抜く力	課題発見力	与えられた課題やテーマのポイントを理解し、整理することができる。					
	計画力	提出期限と考え併せながら、作成する記事がより良いものとなるように作業工程を管理することができる。					
	創造力	作成する記事がより良いものとなるように、複数の角度から課題を捉え、独自のアプローチの方法を探ることができる。					
チームで働く力	発信力	文章だけでなく、写真やレイアウトも総合して、読み手を意識した記事を作成することができる。					
	傾聴力	相互レビューの際に、お互いの記事がより良いものとなるように建設的な意見を活発に交わることができる。					
	柔軟性	同級生のレビューや教員からの意見を素直に受け取り、記事をより良いものにするために役立てることができる。					
	状況把握力	課題の積み重ねが最終的に1冊の成果物としてまとまることを理解し、授業に取り組むことができる。					
	規律性	共同作業が多い科目であることを理解し、授業が円滑に進むよう、授業への出席、課題の提出など科目内のルールは必ず守ることができる。					
	ストレスコントロール力	作成する記事をより良いものとするための努力や苦労を自身の成長の機会と捉えることができる。					
テキスト及び参考文献							
「暮しの手帖」第5世紀11号、暮らしの手帖社、2021。 そのほかの資料はgoogle classroomにて提示する。 参考文献：「生活練習帳2019」「生活練習帳2020」 そのほかの参考文献については授業内で適宜紹介する。							
他科目との関連、資格との関連							
この科目での学びはライフスタイル学科で開講されるすべての科目と関連する。そして2年次後期以降に開講されるスタジオ関連科目、卒業研究へつながる科目である。							
学修上の助言				受講生とのルール			
暮らしの手帖のバックナンバーは図書館にあるので積極的に手に取ってみてほしい。また、ライフスタイル、生活情報に関する雑誌も数多くの種類が発行されているので、読み比べてみることも薦める。				授業の性質上、欠席による補習はかなりの努力が必要なため、原則として1回の欠席も認めない。特別な事情がある場合は事前に連絡をすること。補習を行わせる。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
			④				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
		レポート	0	①			
				②			
				③			
				④			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①		✓	最終的に提出された完成記事に対して評価する。記事の推敲過程の評価は学修態度に反映させる。課題の指示に従って集めた情報を比較・検討する中で、課題の本質を理解し、それを記事に反映しているか、読み手を意識して記事が書かれてあるかを評価する。
				②		✓	
				③		✓	
				④		✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	【主体性】作成する記事をより良いものにするために、調査や推敲を重ねる努力ができる。 【働きかけ力】他の学生が作成する記事についても、自身の作成する記事同様により良いものとなるようにアドバイスすることができる。 【実行力】作成する記事をより良いものとする意志を持続し、課題を完成させることができる。 【課題発見力】与えられた課題やテーマのポイントを理解し、整理することができる。 【計画力】提出期限と考え併せながら、作成する記事がより良いものとなるように作業工程を管理することができる。 【創造力】作成する記事がより良いものとなるように、複数の角度から課題を捉え、独自のアプローチの方法を探ることができる。 【発信力】文章だけでなく、写真やレイアウトも総合して、読み手を意識した記事を作成することができる。 【傾聴力】相互レビューの際に、お互いの記事がより良いものとなるように建設的な意見を活発に交わすことができる。 【柔軟性】同級生のレビューや教員からの意見を素直に受け取り、記事をより良いものにするために役立てることができる。 【状況把握力】課題の積み重ねが最終的に1冊の成果物としてまとまることを理解し、授業に取り組むことができる。 【規律性】共同作業が多い科目であることを理解し、授業が円滑に進むよう、授業への出席、課題の提出など科目内のルールは必ず守ることができる。【ストレスコントロール】作成する記事をより良いものとするための努力や苦勞を自身の成長の機会と捉えることができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
課題の指示に従って集めた情報を比較・検討する中で、課題の本質を理解し、それを記事に反映している。 ※本科目における課題の本質の理解とは、暮らしの豊かさにつながることを記事の中で伝えられることを指す。少しでも含まればA、多分に含まればSとする。	課題の指示に従って、比較・検討できるだけの情報を集め、それを記事にまとめている。 以上の条件が満たされた場合にB評価とする。 C評価の基準は授業計画「到達レベルC(可)の標準」に準ずる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	担当：丹羽 「ライフスタイル学演習」概要説明 「暮らしの手帖」から生活の豊かさを考える。	講義	授業の概要が理解できた。	(予習) シラバスを読んでおく。 (復習) 暮らしの手帖を精読する。	180	主体性 課題発見力
2	担当：丹羽 「暮らしの手帖」レビュー ■コンテンツ1「場所のチカラ」 課題の説明 場所の持つ力、場所が私たちに与える影響について考える	講義 プレゼンテーション グループワーク	課題のプレゼンテーションができた。	(予習) 暮らしの手帖の中で気になった記事をピックアップする。 (復習) 対象とする場所を決め、写真を撮影してくる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
3	担当：丹羽 自分の選んだ場所(撮影してきた写真)のプレゼンテーション	演習 プレゼンテーション	課題のプレゼンテーションができた。	(予習) プレゼンテーションの準備をする。 (復習) 記事で紹介する内容を検討する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
4	担当：丹羽 記事の推敲と相互レビュー	演習 グループワーク	記事を作成し、推敲することができた。	(予習) 記事の第1稿を作成する。 (復習) 記事内容に合わせ、写真の再撮影をおこなう。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	担当：丹羽 記事のレイアウト 原稿と写真をページフォーマットにレイアウトして原稿を完成させる。	演習	記事を完成させることができた。	(予習) 記事の原稿と写真を完成させておく。 (復習) 未完了の課題を完成させる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	担当：龍田 ■コンテンツ2「暮らしの中の音」 課題の説明。 音を感じるワーク。音とは何かを考える・知る。 雑誌に掲載された過去の記事を読む。	講義 演習	課題を理解した。 授業中の質問とその回答をシートに書いた。 過去の記事を読み、コメントを書いた。	(予習) シラバスを読み、苦手な内容にマークを付ける。 (復習) 授業内に提示される課題を行い、期日までに提出する。	180	主体性 実行力 傾聴力 規律性
7	担当：龍田 音を感じるワーク。人の耳の役割を考える・知る。 先週の課題で行ったことを、グループ内で一つにまとめる。 4つの記事の中から、分担する記事を決める。 記事にする音を探す条件を聴く。	講義 演習	授業中の質問とその回答をシートに書いた。 先週の課題で行ったことを、グループ内で話した・聴いた。 話し合ったこと、決まったことをシートに書いた。	(予習) 先週渡された記事を読み返す。 (復習) 指示された条件に従い、記事にする音を探す。スライドにまとめ、期日までに提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
8	担当：龍田 読んできた記事の伝えたいことと登場する音の効果を話し合う。読んでいない人に、記事を紹介する。4つの記事をまとめて、伝わる記事を書くコツ・音の効果的な使い方を話し合う。 記事を書く条件を聴く。	講義 演習	読んできた記事で、筆者が伝えたいこと、登場する音の効果を話し合えた。 読んでいない人に、記事を紹介できた。 伝わる記事を書く時に気を付けたいことを話し合えた。	(予習) 担当の記事を読み、登場する音、その音と暮らしとのつながり、記事が伝えようとしていることをまとめる。 (復習) 指示された条件に従い、記事を書く。期日までに提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	担当：龍田 4つの記事のまとめで出された「伝わる記事を書くコツ」と「音の効果的な使い方」を見る。 書いてきた音の記事を読んで、ダメ出ししてもらう。	講義 演習	「伝わる記事を書くコツ」と「音の効果的な使い方」をメモした。 書いてきた記事を読んだ。 ダメ出しをメモした。	(予習) 作成し、提出した記事を読み返す。 (復習) 「伝わる記事を書くコツ」、「音の効果的な使い方」、「ダメ出ししてもらったこと」を考慮して、記事を書き直す。期日までに提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
10	担当：龍田 提出された記事について、担当教員のコメントとアドバイスを聴く。 記事を書き直す。	講義 演習	担当教員のコメントとアドバイスを聴くことができた。 記事を書き直し、提出することができた。	(予習) これまでのレクチャーとワークを整理しワークシートをまとめる。 (復習) 記事を書き直し、期日までに提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性
11	担当：平岩 ■コンテンツ3「私の生まれた季節のハンカチ」 日本の暦から自分の生まれた季節を理解しまとめる。 ハンカチデザインの説明	講義 演習	課題を理解し、ハンカチのデザインを考えた。	(予習) 指定された記事を読んでくる。 (復習) ハンカチのデザイン画を書く。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
12	担当：平岩 デザインを修正・決定する。 ハンカチ布の端を三つ折りしてミシンをかける。 装飾を始める。 製作過程を記録する。	演習	ハンカチの端ミシンができ、装飾を始められた。	(予習) デザインに合った装飾の手法を考えてくる。 (復習) 製作を進める。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力
13	担当：平岩 ハンカチの製作を進める。 製作過程を記録する。	演習	製作が進み、完成の目途が立っている。	(予習) 製作を進めてくる。 (復習) 製作を進める。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力
14	担当：平岩 「私の生まれた季節のハンカチ」をテーマに、記事を作成する。 デザインのポイントや製作手順をまとめる。	講義 演習	記事作成を進められた。	(予習) ハンカチを完成させてくる。 (復習) 記事作成を進める。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力
15	担当：平岩 相互レビューで記事を推敲する。 編集を行い記事を完成させる。	演習	記事を完成させることができた。	(予習) 記事作成を終わらせてくる。 (復習) 編集の後、記事を完成させる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
120112026	ライフスタイル学演習Ⅱ	森山・近本・平岩		専門	2	必修	1後期
科目の概要							
ライフスタイル学科における学びの目標は「新しいライフスタイルの提案」が出来るようになることにある。1年前期、後期、2年前期の3セメスターにわたって設定されているこの演習には、自分の生活とつながる様々な事象をテーマとし「生活の豊かさとは何か」を探し、考えて、それを表現する課題が設定されている。これまで何気なく接していたモノ、あたりまえに感じていたコトを新しい視点で見つめ直し、それに言葉を与えていく作業を通して、自分自身の感性を磨いてほしい。							
学修内容				到達目標			
① 人が暮らす、生活をつくることについて知る。 ② 地域の食材や食文化が育んできた食生活の豊かさを知る。 ③ 自分が大切にしているモノがもたらす生活の豊かさを知る。				① 人が暮らす、生活をつくることについて説明できる。 ② 地域の食材や食文化が育んできた食生活の豊かさを記事として伝えることができる。 ③ 自分のまわりのモノがもたらす生活の豊かさを記事として伝えることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	作成する成果物をより良いものにするために、調査や推敲を重ねる努力ができる。					
	働きかけ力	他の学生が作成する成果物についても、自身の作成する成果物同様により良いものとなるようにアドバイスすることができる。					
	実行力	作成する成果物をより良いものとする意志を持続し、課題を完成させることができる。					
考え抜く力	課題発見力	与えられた課題やテーマのポイントを理解し、整理することができる。					
	計画力	提出期限と考え併せながら、作成する成果物がより良いものとなるように作業工程を管理することができる。					
	創造力	作成する成果物がより良いものとなるように、複数の角度から課題を捉え、独自のアプローチの方法を探ることができる。					
チームで働く力	発信力	文章だけでなく、写真やレイアウトも総合して、読み手を意識した成果物を作成することができる。					
	傾聴力	相互レビューの際に、お互いの記事がより良いものとなるように建設的な意見を活発に交わることができる。					
	柔軟性	同級生のレビューや教員からの意見を素直に受け取り、成果物をより良いものにするために役立てることができる。					
	状況把握力	課題の積み重ねが最終的に成果物としてまとまることを理解し、授業に取り組むことができる。					
	規律性	共同作業が多い科目であることを理解し、授業が円滑に進むよう、授業への出席、課題の提出など科目内のルールは必ず守ることができる。					
	ストレスコントロール力	作成する成果物をより良いものとするための努力や苦労を自身の成長の機会と捉えることができる。					
テキスト及び参考文献							
「暮しの手帖」第5世紀11号、暮らしの手帖社、2021。 そのほかの資料はgoogle classroomにて提示する。 参考文献：「生活練習帳2018」「生活練習帳2019」 そのほかの参考文献については授業内で適宜紹介する。							
他科目との関連、資格との関連							
この科目での学びはライフスタイル学科で開講されるすべての科目と関連する。そして2年次後期以降に開講されるスタジオ関連科目、卒業研究へつながる科目である。							
学修上の助言				受講生とのルール			
暮らしの手帖のバックナンバーは図書館にあるので積極的に手に取ってみてほしい。また、ライフスタイル、生活情報に関する雑誌も数多くの種類が発行されているので、読み比べてみることも薦める。				授業の性質上、欠席による補習はかなりの努力が必要なため、原則として1回の欠席も認めない。特別な事情がある場合は事前に連絡をすること。補習を行わせる。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		0	①		
					②		
③							
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			90	①	✓		
				②	✓		
	③			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合		100					

最終的に提出された完成記事に対して評価する。記事の推敲過程の評価は学修態度に反映させる。課題の指示に従って集めた情報を比較・検討する中で、課題の本質を理解し、それを記事に反映しているか、読み手を意識して記事が書かれてあるかを評価する。

【主体性】作成する記事をより良いものにするために、調査や推敲を重ねる努力ができる。
 【働きかけ力】他の学生が作成する記事についても、自身の作成する記事同様により良いものとなるようにアドバイスすることができる。
 【実行力】作成する記事をより良いものとする意志を持続し、課題を完成させることができる。
 【課題発見力】与えられた課題やテーマのポイントを理解し、整理することができる。
 【計画力】提出期限と考え併せながら、作成する記事がより良いものとなるように作業工程を管理することができる。
 【創造力】作成する記事がより良いものとなるように、複数の角度から課題を捉え、独自のアプローチの方法を探ることができる。
 【発信力】文章だけでなく、写真やレイアウトも総合して、読み手を意識した記事を作成することができる。
 【傾聴力】相互レビューの際に、お互いの記事がより良いものとなるように建設的な意見を活発に交わすことができる。
 【柔軟性】同級生のレビューや教員からの意見を素直に受け取り、記事をより良いものにするために役立てることができる。
 【状況把握力】課題の積み重ねが最終的に1冊の成果物としてまとまることを理解し、授業に取り組むことができる。
 【規律性】共同作業が多い科目であることを理解し、授業が円滑に進むよう、授業への出席、課題の提出など科目内のルールは必ず守ることができる。【ストレスコントロール】作成する記事をより良いものとするための努力や苦勞を自身の成長の機会と捉えることができる。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>課題の指示に従って集めた情報を比較・検討する中で、課題の本質を理解し、それを記事に反映している。 ※本科目における課題の本質の理解とは、暮らしの豊かさにつながることを記事の中で伝えられることを指す。少しでも含まれればA, 多分に含まれればSとする。</p>	<p>課題の指示に従って、比較・検討できるだけの情報を集め、それを記事にまとめている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	担当：森山 ■コンテンツ4「地元の特産品を使った献立」 自分の住んでいる地域の特産品を調べよう	講義 演習	自分の住んでいる地域について土地柄、環境と共に特産品を調べる。	(予習)教科書の地産地消の部分を読んでくる。 (復習)自分の住んでいる市町村の特産物を調べる。	90	主体性 傾聴力
2	担当：森山 特産品を使用した調理例を知り、新たに献立を考える	講義 演習	特産品を使用した郷土料理を知り、新たな献立を考える。	(予習)地域の特産品や郷土料理を調べてくる。 (復習)考案した調理をどの様に作るか手順を考える。	180	主体性 実行力 計画力
3	担当：森山 献立の調理操作を考える	演習	考案した調理の食材と分量などを調べ、調理手順を作成し、班員と役割分担する。	(予習)調理本から食材と分量、手順を調べてくる。 (復習)調理の手順をしっかり把握する。	180	主体性 実行力 傾聴力
4	担当：森山 調理および記事作成用の資料準備	実習	調理品を作成し、記事作成用に調理品撮影や手順を記録する。	(予習)調理手順を覚えてくる。 (復習)記事作成用の資料を作成する。	180	主体性 実行力 計画力
5	担当：森山 調理品の報告	演習	調理品がどこの地域の特産品を使用したのかなどの説明と共に、調理品の特色や手順などを報告する。	(予習)プレゼン作成と説明の準備をする。 (復習)報告して指摘された点について訂正する。	180	主体性 実行力 計画力
6	担当：近本 ■コンテンツ5	演習 ディスカッション	授業の課題を期日内に提出する。	(予習)指示された課題を調べる。 (復習)指示された課題に取り組む。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 規律性
7	担当：近本 ■コンテンツ5	演習 ディスカッション	授業の課題を期日内に提出する。	(予習)指示された課題を調べる。 (復習)指示された課題に取り組む。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
8	担当：近本 ■コンテンツ5	演習 ディスカッション	授業の課題を期日内に提出する。	(予習)指示された課題を調べる。 (復習)指示された課題に取り組む。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	担当：近本 ■コンテンツ5	演習 ディスカッション	授業の課題を期日内に提出する。	(予習) 指示された課題を調べる。 (復習) 指示された課題に取り組む。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
10	担当：近本 ■コンテンツ5	演習 ディスカッション	授業の課題を期日内に提出する。	(予習) 指示された課題を調べる。 (復習) 指示された課題に取り組む。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
11	担当：平岩 ■コンテンツ3「私の生まれた季節のハンカチ」 日本の暦から自分の生まれた季節を理解しまとめる。 ハンカチデザインの説明	講義 演習	課題を理解し、ハンカチのデザインを考えた。	(予習) 指定された記事を読んでくる。 (復習) ハンカチのデザイン画を書く。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
12	担当：平岩 デザインを修正・決定する。 ハンカチ布の端を三つ折りしてミシンをかける。装飾を始める。 製作過程を記録する。	演習	ハンカチの端ミシンができ、装飾を始められた。	(予習) デザインに合った装飾の手法を考えてくる。 (復習) 製作を進める。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
13	担当：平岩 ハンカチの製作を進める。 製作過程を記録する。	演習	製作が進み、完成の目途が立っている。	(予習) 製作を進めてくる。 (復習) 製作を進める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
14	担当：平岩 「私の生まれた季節のハンカチ」をテーマに、記事を作成する。 デザインのポイントや製作手順をまとめる。	講義 演習	記事作成を進められた。	(予習) ハンカチを完成させてくる。 (復習) 記事作成を進める。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
15	担当：平岩 相互レビューで記事を推敲する。 編集を行い記事を完成させる。	演習	記事を完成させることができた。	(予習) 記事作成を終わらせてくる。 (復習) 編集の後、記事を完成させる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力